

消防署本署・消防団第3分団

再編済み



再編手法	施設の複合化（消防署本署と消防団第3分団）	
再編内容	消防庁舎を新たに建て替え、消防署本署と消防団第3分団を複合化する。	
施設概要	開設	令和3年度（2021年）
	所在地	平塚市浅間町9-1（現消防庁舎敷地）
	規模	鉄骨造3階建て 1,991.61平方メートル
	その他	消防団第3分団との複合化
再編に至る経緯	<p>市民生活の安心安全を目指し、災害活動拠点となる消防庁舎について、昭和39年（1964年）に建設された庁舎南側部分の耐震診断を実施した結果、現行の基準では耐震強度が不足していることが判明した。これを受け、平塚市公共建築物耐震化計画では、新庁舎建設と並行して消防庁舎の耐震化を行うことを示した。また、老朽化が著しく特に衛生環境等の改善が必要であることなどから早急な大規模改修も求められている状況であった。</p> <p>今回、耐震化及び大規模改修を進めるにあたって、消防署本署の受持区域内を管轄している第3分団との複合化を検討した。その結果、これらを複合化することによって互いの連携が密になり、より強固な消防・防災拠点の確立が期待できることから、消防庁舎の耐震化及び複合化の実現に向け、施設の再編を行うこととした。</p>	
再編で得られた効果	<ul style="list-style-type: none">・消防職員と消防団員との連携協力体制がより一層強固となることで、本市消防力の強化と災害活動拠点としての機能充実を図ることができた。・共に老朽化が著しい庁舎を複合化することにより、耐震性能の向上、保全工事などの維持管理コストの削減、床面積の縮減によるライフサイクルコストの低減が図れた。・第3分団跡地の利活用を図ることができる。	